資料２(1)

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別
制定

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称
規格番号　　JIS T8125-2
規格名称　　手持ちチェーンソー使用者のための防護服－第２部:脚部防護服の試験方法及び要求性能
改正の場合、現行規格名称
[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣
経済産業大臣及び厚生労働大臣の共管

制定・改正の内容等に関する事項
・制定・改正の必要性及び期待効果
ＩＳＯと整合した日本規格の制定により、品質の標準化及び産業の合理化に寄与する。
取引の公正化、品質・安全性の客観化、国際貿易の円滑化に寄与する。

・規定項目又は改正点
手持ちチェーンソーによる切断を防護する脚部防護服のタイプ，性能及びその試験方法について規定する。
規格は、次の項目箇条からなる。
１適用範囲
２引用規格
３用語及び定義
４タイプ
５一般構造
６性能
7試料
８前処理
９試験方法
１０構造の変更
１１表示
１２取扱説明書

原案作成に関する事項
原案作成機関名　　　　社団法人　日本保安用品協会
特定標準化機関以外
財団法人　日本規格協会

・原案作成区分
　法１２条による

・原案作成委員会の構成表及び開催状況
　委員構成表は別紙のとおり。
原案作成委員会は下記のとおり，３回開催した。
第1回２００７．９．７．文京アカデミー（出席者１５名)、第2回２００７．１１．１３同（出席者１９名)、第3回２００８．１．２４．同（出席者１６名）
分科会を設置して3回開催した。
第1回２００７．８．３１．文京シビックセンター（出席者１３名)、第2回２００７．１０．１９．保安用品協会（出席者１０名)、第3回２００７．１２．１２．東レ・デュポン㈱本社（出席者１１名)

日本工業標準調査会の審議に関する事項
・部会名：標準部会（部会長：二瓶　好正）

・専門委員会：労働安全用具技術（専門委員会長：吉識　晴夫）

・審議経過
　WG 議決年月日　　　　　　年　　月　　日
　専門委員会議決年月日　　　　年　　月　　日
　部会議決年月日　　　　　　　年　　月　　日

・審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項
・対応する国際規格及びそれらの規格との整合性
　国際規格番号　ISO 11393-2：1999　　　　　　　　整合性　　ＭＯＤ

・既制定の類似・関連 JIS との関係
　ＪＩＳＴ８１２５－１（２００６年原案作成済み）ＪＩＳＴ８１２５－３（この規格と平行して審議）

・関連する強制法規
　無

・関連する公共調達基準
　無

・工業所有権等知的財産権
　無